

## 第3章 地域福祉の担い手づくり【ともにまなぶ】

### 第1節 福祉について学びましょう

#### 現状と課題

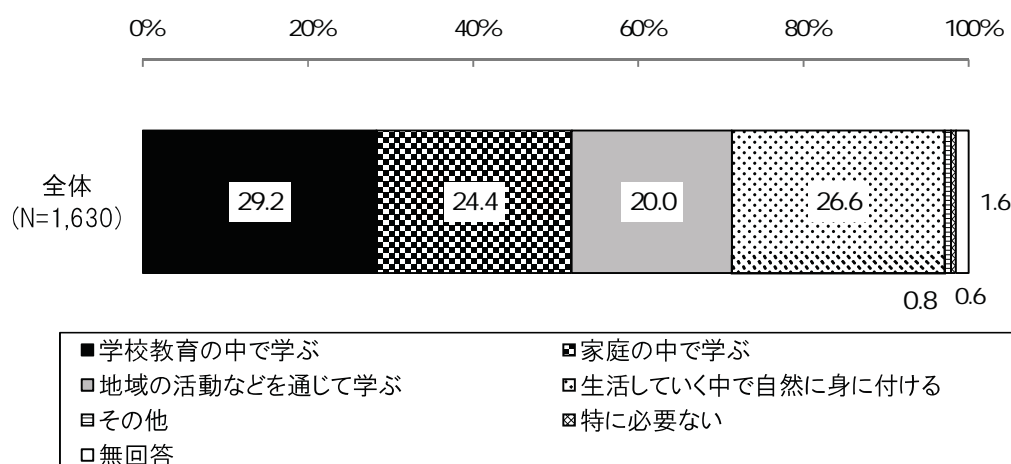
核家族化、少子化が進み、子どもを取り巻く生活環境の変化は、子どもの成長に大きな影響を及ぼしています。

また、地域への関心や連帯感が薄れ、子どもたちが地域の人々とふれあう機会が減ることで、地域の教育力が低下しています。

このため、家庭を中心に学校・地域が連携し、地域のふれあいの中で子どもたちの思いやりの心を育むことが大切です。

市民アンケートでは、『学校教育の中で学ぶ』ことが大切という答えと、次いで『生活していく中で自然に身に付ける』ことが大切という答えが多いという結果になりました。

問 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）について、あなたが最も大切だと思うものは何ですか。



(注)市民アンケートの比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入するため、百分比の合計が100%にならないことがあります。

子どもたちが生活の中で福祉を学んでいくためには、学校だけでなく、地域や家庭での取組も大切になってきます。

また、地域福祉の推進には、子どもたちから大人まですべての市民が福祉について理解を深めることも必要です。

学校・地域・家庭で連携を行い、住民みんなで、子どもたちに思いやりの心を育めるような取組を進めていきます。

## 今後の主体別の取組

### ①福祉教育、福祉体験の推進

#### 市民・団体・事業者は・・・

- 大人は子どもたちの手本となるよう心がけます。
- 家庭で基本的な生活習慣や社会的ルールを身につけます。
- 家庭の温かいふれあいの中で感謝や思いやりの心を育みます。
- 小・中学校のふれあい協力員として、子どもたちの育成に参加します。
- みんなが仲良くするために人を差別しません。
- バスなどで席を譲るなど、お年寄りや障害のある人には優しくします。
- 進んで地域の行事に参加します。
- アルミ缶などを集めて福祉活動に使います。

#### 行政は・・・

- 幼稚園・保育園・認定こども園では、地域の社会福祉施設への訪問などにより、高齢者や障害のある人への尊敬やいたわり、思いやりの心を養います。
- 小・中学校では、総合的な学習の時間や、道徳・特別活動など学校における教育活動の中で福祉教育・福祉体験を進めます。



アイマスク体験の様子



車いす体験の様子

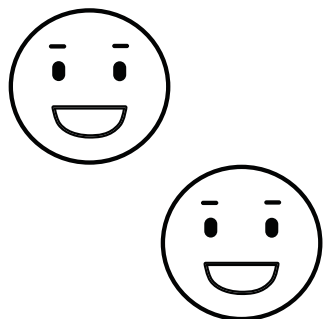
## 第2節 地域福祉の人材を育てましょう

### 現状と課題

行政や社会福祉協議会、さまざまな専門職やボランティアなどのほか、地域福祉の観点からは、私たち市民一人ひとりも重要な担い手と期待されますが、少子高齢化や地域におけるつながりの希薄化などとともに、担い手の不足が深刻な問題となっています。

また、地域福祉活動の中心になっている、自治会の役員や民生委員・児童委員等の人たちに、活動の負担が集中していることも大きな問題です。

その一方、市民アンケートの自由意見にはボランティアへの参加の意向がある意見が見受けられました。



#### 【市民アンケートでの自由意見】

- ・情報がなかったことでボランティアに参加したくてもできなかった。
- ・自分のできること、得意分野であることなら手伝いできる。
- ・点字や手話などの講座を教える機会、教えてもらえる機会がほしい。

地域で行われているさまざまな地域活動団体やボランティアグループ、NPOによる多様な助けあい活動に、地域住民が担い手として参加するきっかけとなる機会を増やすしくみが必要です。

## 今後の主体別の取組

### ①地域福祉活動の人材育成

#### 市民・団体・事業者は・・・

- 地域福祉活動に関心を持ち、活動に協力・参加します。
- 幅広い世代に対して、地域福祉活動への参加を呼びかけます。
- 今まで身につけた知識や技術、経験などを地域福祉活動に活かします。
- 地区福祉推進会は、地域福祉活動の中心的な担い手として、リーダーシップを発揮します。

#### 行政は・・・

- 講座や研修会を開催し、地域福祉活動を展開できる人材を育成します。

まちづくりセンター講座や社会福祉協議会の講座等で福祉に関する講座を開催しています。



富士南まちづくりセンター講座「傾聴のすすめ」の様子

- 地域の状況に合わせた活動を支援する人材を派遣します。
- 子ども会世話人連絡協議会と連携して、★インリーダー（小学生）や★ジュニアリーダー（中高生）を育成します。

ジュニアリーダーとしての資質向上を目指して、心構えや小学生等との接し方、安全に関する知識などを学ぶとともに、オリエンテーリングやキャンプファイヤーなどの技能を身につけ、地域で活躍できる力を育んでいます。



ジュニアリーダー講習会の様子

- ★ボランティアセンター（社会福祉協議会）での各種講座や研修の開催を支援します。



託児ボランティア講座の様子



ボランティア講座の様子

## 第3節 ボランティアやNPOの活動を支援しましょう

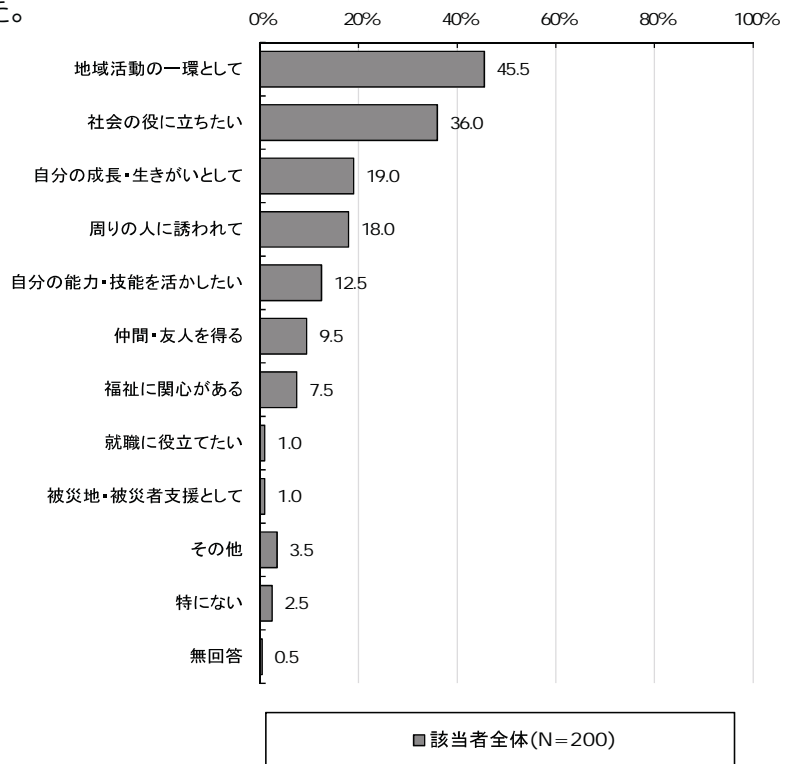
### 現状と課題

現在、ボランティア活動に参加している人は極めて少なくなっています。

市民アンケートでボランティア活動に参加している人にきっかけを聞いたところ、社会貢献や自己実現への意欲が感じられました。

問 あなたがボランティア活動に参加しているきっかけはどのようなことですか。

(複数回答あり)

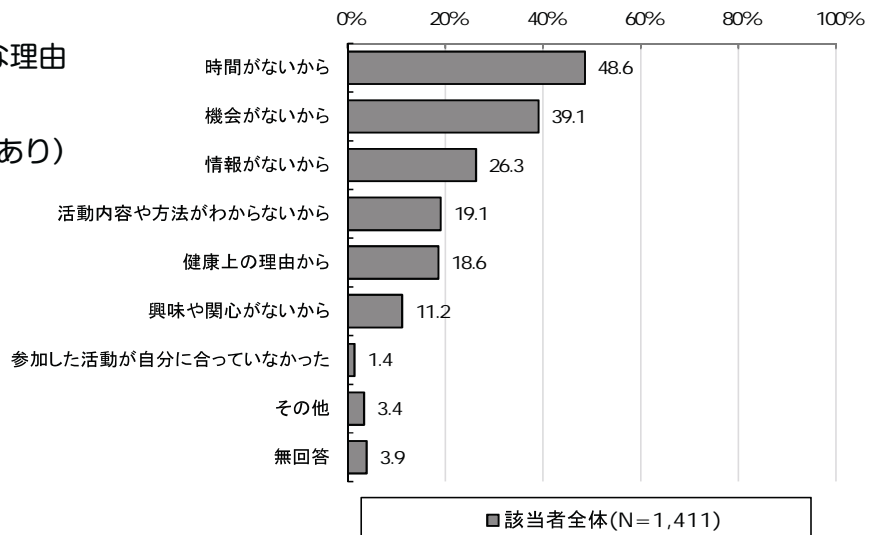


一方、参加していない人に理由を聞くと、『時間がない』に次いで、『機会がない』、『情報がない』という回答となり、活動の情報提供を充実することや、参加へのきっかけづくりを進めることが必要となります。

また、ボランティアやNPOの活動のための、環境整備にも取り組んでいくことも大切です。

問 現在参加していない主な理由をお聞かせください。

(複数回答あり)



## 今後の主体別の取組

### ① ボランティア・NPO活動に対する支援

#### 市民・団体・事業者は・・・

- ボランティアやNPOの活動に関心を持ちます。
- ボランティアセンター（社会福祉協議会）や市民活動センターなどを利用し、積極的に情報を収集します。
- 自分のできることから、ボランティア活動を始めます。

#### 行政は・・・

- 社会福祉協議会と連携しボランティア活動に関する情報収集、情報提供などを行います。
- ボランティアセンター（社会福祉協議会）の運営に対して支援を行います。
- 手話通訳などの専門的な技術を持ったボランティアを養成します。
- 市民活動センターでは、市民活動に関する情報収集、情報提供や助言、援助などの支援を行います。また、NPO法人の設立や運営に関する講座や相談業務などを行います。



ボランティアセンター

### ② 活動拠点づくりへの支援

#### 市民・団体・事業者は・・・

- 地域にある公会堂や社会福祉施設、空き家や商店街の空き店舗などを積極的に活用します。

#### 行政は・・・

- 福祉団体活動室（フィラソンセ内）や★市民活動センターの利用促進のための情報提供を行います。



福祉団体活動室



市民活動センター コミュニティ f

- 地域福祉活動を行う団体が、商店街の空き店舗を活用した事業を展開する際に助成します。